

平成30年度 第1回 吹田市立図書館協議会（会議録要録）

開催日時：平成30年（2018年）7月27日（金）

午後2時～4時半

開催場所：吹田市立中央図書館3階第2集会室

出席委員）広瀬委員長、柴田副委員長、久保委員、佐中委員、西野委員、林口委員、
野々上委員、稲垣委員

事務局）木戸地域教育部長、落地域教育部次長、宮東中央図書館長、長参事、林野参事、
池田主幹、桑名主幹、森千里図書館長、森さんくす図書館長、井手江坂図書館長、
廣本千里山・佐井寺図書館長、梶原千里丘図書館長、牧瀬山田駅前図書館長

傍聴者）2名

平成30年度 第1回吹田市立図書館協議会次第

- 1 図書館協議会の取組みについて
- 2 「平成29年度（2017年度）吹田市立図書館点検・評価報告書」（案）作成について
- 3 報告事項
 - （1）「平成30年度（2018年度）吹田市立図書館の基本方針と目標」について
 - （2）中央図書館の耐震補強等改修事業について
 - （3）（仮称）健都ライブラリー整備事業について
- 4 その他
 - （1）次回日程について
 - （2）その他

広瀬委員長：開会の挨拶

事務局：傍聴者確認。傍聴者入室。

出席確認

地域教育部長挨拶

事務局の職員紹介

資料確認

1 第8期吹田市立図書館協議会の取組みについて

稲垣委員：「子ども読書活動推進計画」の方向性は出ているのか。

宮東館長：現在は出していない。改訂版のあと引き続き取り組みを続けている。

進捗状況の集約もしていない。

野々上委員：大阪府の「子ども読書活動推進計画」は第3次計画が策定されている。

吹田市も次の改訂を進めてほしい。

広瀬委員長：どのようなところに改訂の必要性を感じるか。

稲垣委員：図書館は児童サービスや学校支援でも頑張っているが、市全体のものになっているかが気になる。図書館だけ頑張ってもできないが市の方針が出ていれば、議論できるかなと思った。

宮東館長：学校の先生には話を聞いたり読書支援者を支援したり取組を進めている。担当では部をまたがった横断的な会議をしたが継続されていない。これが続いていると、進捗状況の確認とこれからの見通しを得られたかと思う。

稲垣委員：当協議会でいろいろ課題や取組みを考えたら、それはどういう取扱いをされるのか。

宮東館長：まずはこの協議会で、いろんな意見・課題を挙げてもらいたい。

例えば、学校連携についての課題等をここで伝えてもらったなら、図書館として整理して地域教育部長から学校教育部へ話を持っていき、解決策の検討を進めるように提案できると思う。

木戸部長：教育ビジョンで学校図書館と市立図書館の連携が大切と言われている。学校教育部とともに検討していきたいので、このようなものが良いと御意見をいただきたい。教育ビジョンは市のホームページでも見られるが、概要版をお配りする。

西野委員：吹田市の総合計画で、もっと図書館の動きを明示した方がよい。新たに作成される第4次計画にも市として図書館の立ち位置をアピールした方がよい。各部局とも連携が取れる。図書館の計画も盛り込むべき。もう少しボリュームのあるものを盛り込んだ方がよい。

木戸部長：現在、基本計画を作っている。これからパーツパーツを各部局で盛り込むので、他部局と連携していく。

広瀬委員長：予算に反映させるには、具体案が必要。

宮東館長：重点を洗い出して意見をいただければ、事業組は考えられる。

木戸部長：意見を頂いたので、何ができるか話を持っていく。

2 平成29年度（2017年度）吹田市立図書館点検・評価報告書（案）について 事務局説明（宮東館長・長参事）

先だってお送りした資料を御覧ください。毎年実施しております点検評価について、平成29年度に実施しました事業を図書館の基本構想の項目に合わせて整理し、数値目標についてはアクションプランに合わせて設定しております。大きく実態と違うところを前回修正しました。中の数値につきましては後程御説明します。「吹田市の図書館活動平成29年度版」が作成途中で、統計数値が確定していません。現時点で判明している部分

の数字は入れています。

平成 29 年度中に実施した事業を入れて作成しました。図書館の評価につきましては A B C D の 4 段階の評価を成果と課題ということでいったん今の段階で整理して入れています。

1 ページ目に吹田市立図書館の 3 つの基本目標を掲げています。これにあわせて毎年事業に取り組んでおります。

2 ページ基本目標 1 いつでもどこでもだれにでもサービスをということ、取組み 1 として施設及びサービス網の整備をあげ、中央図書館の整備と、不便地域の岸部の図書館進捗状況と、数値としては広域利用の結果をあげました。

中央図書館の耐震診断を行い結果がでたこと、(仮称) 健都ライブラリーの整備が進んだこと及び、北摂 7 市 3 町の図書館間の広域貸出サービスが始まったことを受けて、図書館の評価は A としています。中央図書館耐震等改修工事は今年度設計を行い、平成 31 年度に工事を実施する予定です。出来る限り使いやすい施設改修を目指します。

3 ページ利用促進については数値として貸出冊数とホームページへのアクセス数を入れております。リツイートの件数については検討中です。システムの入替のための休館やシステムの停止などがありいずれも数を減らしたものが回復し、メルマガの登録は過去最高となっています。来館困難な方への郵送貸出の準備も進みました。

利用者一人あたりの貸出点数は昨年につき 50 冊を超え、自動貸出機導入による利便性の向上に成果がでたこと、また、メルマガや新着図書お知らせサービスの利用件数が大幅に増加したことやメルマガの登録率は過去最高となったことを成果とする一方、SNS のリアクション数の増加や、新規登録者数や登録者のリピート率を増やす取り組みを今後の課題とし、図書館の評価は B としています。

5 ページ資料と情報の提供ということで昨年度取り組みました図書館講座、文化行事の参加人数やレファレンス(読書調べもの相談)の数値を入れる予定です。そのうち行事についてはアクションプランの数値を見直した個所となっております。成人向け児童向け合わせて平成 31 年度までに 26,000 人の参加者をということで教育委員会の重点目標に掲げたことから、その数字からそれぞれ割り戻して参加人数目標とさせていただきます。

中高生サポーターの活動や職業体験の受け入れを通して、中高生世代の利用を増やす取り組みに成果が見られました。学校連携では「ごりまる便」「ごりまる学校訪問」「もうよんだかなセット」など申込を一部インターネット化し利便性を向上させましたが、学校への団体貸出の申込のインターネット化や学校への定期的な連絡便の運行の実施が課題であるため、図書館の評価は B です。

基本目標 2 仕事や暮らしを豊かにする図書館サービスということですが、10 ページ「取組み 1 施設や地域との連携」では、出前講座や講師派遣の依頼の数を入れております。専門職としての仕事ととらえ、今後も取り組んでまいります。

出前講座や連携講座を実施し、図書館のアピールにつなげたことや他部局と連携し、信頼できる施設としての位置付けを確かにするよう努めました。図書館の評価はAです。

11 ページ「取組み 2 自己実現の援助」こちらは主にボランティア関連の項目となっています。現在も多くの皆様に支えていただき図書館活動を続けております。こちらは目標値 825 名と届きませんが、いろいろ努力を続け、登録者数はまた増えました。

ボランティア全体の登録数は目標に達していませんが、障がい者対応のボランティアの登録数や、図書館の装飾や行事の補助、データ入力等を行う図書館フレンズの活動回数や延べ人数が増加しアンケートでも活動について「よい」との御意見を多くいただいたことを成果として図書館の評価はAとしています。

13 ページから、高齢者・障がい者サービスの充実ということで対面朗読、音訳図書の貸出とも増加しております。デジター再生機の貸出や、ユニバーサルコーナーの設置などにも取り組みました。全国の視覚障がい者に吹田図書館で作成したコンテンツをサピエを通して提供しております。

来館困難な身体障がい者への図書や雑誌の郵送貸出を開始しました。16 人が登録し 146 冊貸出がありました。これに合わせ、図書館の障がい者サービス情報を市報に掲載しました。対面朗読の回数、録音図書の貸出数とも前年度を上回りました。今後、市役所関連部局や各団体との連携をすすめ情報提供やサービスの利用を促進してまいります。図書館の評価はAとしています。

15 ページ 特色あるサービスは 各館がそれぞれ取り組んだ事業についての評価となっております。多文化サービスとして千里図書館では英語による絵本の読み聞かせや外国文化を知る講演会を行いました。江坂図書館ではビジネス支援に特化した本の棚を増やしました。大阪府済生会千里病院の協力により、「健康医療情報講座」を引き続き実施しました。広告事業においては、PRに一役買うことで市内企業の後援に寄与するため引き続き取り組みました。「療養・介護」のパスファインダーを作成し全図書館で設置・配布しました。これらを成果としています。課題としては、地域の企業や市内で就労されている方に対して引き続いて具体的な働きかけが必要であり、ガンバ大阪との連携事業についても引き続き、関連資料の収集を行い、試合開催に合わせて関連資料の交換展示等に取り組んでいきます。図書館の評価はBとしています。

17 ページから基本目標 3 子育て支援、学校連携などの児童サービスについてブックスタートでは関係部局とともに地道な努力の結果、ブックスタート事業及びブックスタートのひろばを継続しています。数値目標については、児童文学に係る講座講演会の参加者数と読書活動振興の講座派遣事業の参加者数を入れております。講師派遣についてはお呼びがかかれば図書館から出かけて行って図書館利用を呼びかけ、読書振興につなげることを目指しています。

図書館独自の子育て支援の講座と、依頼があれば必ず出かけていく出前講座や講師派遣を行いました。学校連携では、ホームページの「学校支援のページ」の充実をはかり、「ご

りまる便」等の受付けをホームページ経由にした結果、「ごりまる便」の利用がさらに増えました。読書活動支援者との交流会や学校図書館部会への研修、市内全小学校への図書室訪問を全館で取り組みました。多くの成果を上げましたが、やはり、定期的な物流の確保が課題となっており、図書館の自己評価はBです。

本日いただく意見と、今後引き続き御意見をお電話または、書式自由の文書もしくは電子メールで頂きましたら、それを反映させて、次回に協議会の評価を入れたものを御提案させていただき点検結果報告書の公表といたします。御意見につきましては9月末までにいただきますようお願いいたします。また、お近くの図書館へお預けいただくということでも結構です。次回の会議を経て図書館の評価も変わることがあるかもしれません。忌憚らない御意見をいただきたいと思っております。よろしくようお願いいたします。

以上説明でございます。

〈質疑応答〉

西野委員：課題に対して、どう解決するかとしないと予算につながらない。

宮東館長：協議会の評価に入れていく。

西野委員：評価基準がわかりにくい。目標値を上回ると、単純にAになるのか。

評価Bの幅が広すぎる。目標をおおむね達成、では「おおむね」とはどの程度か。一定の成果を上げた、「一定」とはどれくらいのことをいうのか。

評価基準、他市の事例を参考にしてみてもどうか。

木戸部長：他市の事例でじっくりくるものがあるか、どういう表現をしているか調べる。

稲垣委員：各館でせっかく目標をたくさん掲げているので、各館の頑張りを項目立てをしてはどうか。

野々上委員：個人の意見を記入するのか。協議会でひとつにまとめてだしてもいいのではないか。

宮東館長：相反する意見もあると思う。皆さんから頂いた意見を記入して、一覧にして事前にお配りし、次回11月の会議でまとめる。去年は2月にまとめた。エクセルの記入用の書式をお送りするので、9月末までに記入して返送していただきたい。

久保委員：議事録を必ず送ってほしい。

宮東館長：いつもお送りしているので今回も送る。

西野委員：15ページの取組み4 特色あるサービスについて、どの館でやっているのかわかりにくい。「基本方針と目標」では館別になっている。

宮東館長：アクションプランに沿っている。

広瀬委員長：総合評価のところで、各館の評価を付け足す形でできると思う。

林口委員：3ページ、1図書館施設及びサービス網の整備の成果1で中央図書館の耐震診断が行われたのは目標を上回る成果なのか。

宮東館長：耐震診断を実施するまで紆余曲折があったので、ようやくこぎつけたという思いで成果にしている。

林口委員：同成果 2 で健都レールサイド公園内での図書館整備が進んでいることが成果なのか。

宮東館長：基本目標で「いつでも、どこでも、だれにでも、役立つ図書館サービス」としているので、その目標に沿っている。

林口委員：目標をこう設定したと記載してほしい。

林口委員：4 ページの取組み 2 利用促進の情報発信について、ツイッターでは本の紹介が多く、文字ばかりが目につくので、インスタグラムを利用するなど映像や写真などをもっと活用してもらいたい。

5 ページ利用促進の課題で、登録者のリピート率の向上と新規登録者を増やす取組みが挙げられている。リピート率と新規の人を増やすしかけ作りに取り組んでほしい。

西野委員：図書館ばかりで企画を考えるのではなく、利用者からのおすすめ本の紹介など利用者が発信して利用者間の交流につなげる仕組みを図書館で考えてはどうか。

宮東館長：ビブリオバトルや「てくてく」の本の紹介など、利用者から発信できる取組みもある。おすすめ本の紹介は以前募集したことがあるが、なかなか集まらなかった。

林口委員：11 ページ 基本目標 2 「生涯学習を支援して、仕事や暮らしを豊かにする図書館サービスを目指します」の取組 2 自己実現の援助では、ボランティア活動の状況が書かれているが、自己実現はボランティア活動だけでなく、読書活動全体に絡めるべきではないか。

林口委員：13 ページ同取組み課題 3 で、「ボランティア登録数が目標に達しません」とあるが、年度途中でも随時受付するなどの工夫はないのか。

牧瀬館長：昨年度までは年 1 回 3 月の説明会時に登録を受け付けていたが、今年度は説明会の後、通年随時の受付とする。

3 報告事項

(1) 基本方針と目標

次第の 3 報告事項の (1) 「平成 30 年度 (2018 年度) 吹田市立図書館の基本方針と目標」について。

西野委員：各館のボリュームが多すぎる。もっとコンパクトでよい。これだけのものを書き上げるのに労力を使っているなら、他のことに労力を割くべきでは。

西野委員：この結果どうなのか答えを言わないといけないのではないか。

柴田副議長：アクションプランを一緒につけたらよいのではないか。

稲垣委員：この目標は協議会だけのものか。

宮東館長：点検評価報告書はアクションプランに沿っているが、「基本方針と目標」は前

年度から、どのような活動をしていくか、館長会議で話し合っただけで決まっています。

西野委員：この内容は誰に対して発信しているものか。せっかく作成しているのだから、もっとPRをしたらよい。

宮東館長：図書館HPにも掲載しています。

(2) 中央図書館の耐震補強等改修工事について

事務局説明（宮東館長）

3月の図書館協議会で報告した通り、昨年度中央図書館の耐震診断では、大地震発生の場合には倒壊または崩壊の危険性が高いという結果が出ました。幸い6月の地震では損壊はありませんでしたが、5月議会で、耐震補強等改修工事に向けての設計委託料の補正予算が認められ、来年度工事という運びになりました。耐震工事及び玄関扉のバリアフリー化、各階のレイアウト変更等の工事を行い、20年維持するようにします。来年4月から、中央図書館は閉館し、工事終了予定の平成32年（2020年）8月まで、予約本の受け渡しを中心とした仮設窓口を総合福祉会館の旧喫茶スペースに設置します。

〈質疑応答〉

野々上委員：新館への建て替えではないのか。図書館協議会で出した「吹田市立図書館の再整備のあり方について」（答申）に基づいているのか。

宮東館長：答申はそのままであり、20年後に複合化して建て替えを見込んでいる。

(3) (仮称) 健都ライブラリー整備事業について

事務局説明（林野参事）

北大阪健康医療都市（健都）で整備を進めております（仮称）健都ライブラリーについて、御報告申し上げます。報告事項は4点ございます。

1点目、「(仮称) 健都ライブラリーに対する意見募集」の実施について

資料は、「(仮称) 健都ライブラリーに対する意見募集の結果について」というタイトルのものを御覧ください。

前回の図書館協議会で御説明をさせていただきましたように、平成30年2月15日から3月20日までの約1ヵ月の期間で、吹田市立図書館全館及び吹田市立図書館ホームページにおいて、新しい図書館での取組みについて市民の方々からの御意見を募集しました。御意見の内容及びそれに対する図書館からの見解は、御覧いただいている資料のとおりとなります。この資料につきましては、吹田市立図書館ホームページに掲載し、公開しております。

2点目は、

昨年度中に、建設予定地の吹田操車場遺跡の埋蔵文化財発掘調査を行いました。発

掘調査の結果報告は、『公益財団法人 大阪府文化財センター調査報告書 第 291 集 吹田操車場遺跡 15』という冊子にまとめられて、吹田市立図書館及び吹田市立博物館に納められました。図書館では地域資料として受入しておりますので、閲覧・借出の御利用が可能となっております。

3 点目として

資料は、「健都レールサイド公園及び（仮称）健都ライブラリーの進捗状況について」を御覧ください。

資料裏面の末尾、項目 5 に今後のスケジュール案をお示ししております。

平成 29 年 11 月より開始しました実施設計は、今月末で完了予定となっております。今後、建設工事費用の予算案が承認されましたら、建設工事業者の入札を行い、平成 31 年春に着工、約 1 5 ヶ月間の工事期間を経て、平成 32 年 11 月頃の開館を目指しています。

4 点目

項目 3「健都レールサイド公園及び（仮称）健都ライブラリーの管理運営」、及び項目 4「条例等の制定及び改正案の主な内容」を御覧ください。

新しい図書館が増えることに伴いまして、吹田市立図書館条例及び吹田市立図書館の管理運営に関する規則の一部改正を行う予定です。また、新たに吹田市立図書館の指定管理者に関する規則の制定を検討しています。条例の改正案は、平成 30 年 11 月の市議会に提案予定で、そのためにまず、市民意見の募集（パブリックコメントの募集）を来月 8 月 1 日から 31 日まで、1 ヶ月間の期間を設けて実施します。パブコメの実施については、市報すいた 8 月号に掲載、吹田市ホームページや吹田市立図書館ホームページに掲載、その他吹田市立全図書館内や吹田市役所関係部署で資料閲覧等を行います。

改正する内容は、新図書館の名称と所在地、新図書館で導入予定の指定管理者制度に関する事項などになります。

指定管理者制度の導入の考え方については、一度、平成 29 年 2 月の図書館協議会で御説明させていただいておりますが、当協議会を構成する委員の方々の入れ替わりもございましたので、その資料も再度、配布させていただきました。参考資料「（仮称）健康増進公園及び（仮称）健都ライブラリーの管理運営等について」がその時の資料となります。

従来の図書館運営は図書館司書資格を有する市職員が行い、窓口等業務は他の地域館と同様に民間委託します。施設の維持管理業務（清掃、警備、植栽管理など）と、健康の増進を図る事業の業務を指定管理で、という方向で進めております。なお、この指定管理は健都レールサイド公園と一体的に運営できるように、候補者を一括して選定する予定です。

報告事項は以上の 4 点ですが、最後に 1 点 PR をさせていただきます。

(仮称)健都ライブラリーよりも先行して整備を進めておりました(仮称)健康増進公園は、「健都レールサイド公園」として、平成30年3月31日にオープニングセレモニーを行い、供用開始しました。カラーの折りたたみのパンフレットを御覧ください。公園内には、健康づくりに役立つ器具が27基設置され、体の状態に合わせて選べるウォーキングコースも設置されています。またぜひ御利用くださいますよう、よろしくお願いいたします。

〈質疑応答〉

西野委員：摂津市とはどうすみ分けるのか。

図書館のアンケートで、吹田市にもう新しい図書館はいらないとやっている市民の意見に対して、どう返していくのか。

林野参事：図書館の利用想定地域を地図上に円で描いて、その円が吹田市の中で埋まっていないところ、つまり岸部地域が長年、図書館利用不便地域として認識してきた。岸部地域の住民の強い要望もあり、図書館の整備は予定通り、進めていく。

西野委員：事情が理解できている人には特に異論はないのだろうが、このように反対意見を言う人に対して、もっとしっかりPRをしていくべきだと思う。

野々上委員：地域の期待は大きいので、地域を巻き込んで図書館づくりをしてほしい。

4 その他

(1) 次回の日程調整

(2) その他

・大阪府北部地震の被害状況報告

事務局説明（長参事）

6月18日の大阪府北部で発生した地震につきまして、吹田市は震度6弱を記録し当日は全館休館し、情報収集と復旧にあたりました。各館とも、書架の固定が外れて本が落下して散乱したり、天井や壁の建築材等が落下した館もありましたが、幸い開館時間前のため、人的被害はありませんでした。一番危惧されました中央図書館も大きな損壊はありませんでした。現在、各館とも開館しながら建物の修理や書架の固定などを順次行っております。

唯一、山田駅前図書館山田分室では、あとから増築したエレベーター棟にゆがみが生じ、来館者の安全確保のため現在エレベーターを停止して、専門業者による調査を行っております。市役所の出張所や公民館との複合施設ですが、3階にある図書室から、職員が階下に出向いて資料の受け渡しをするなど、利用者には御不便をかけております。調査結果によりましては、大規模な改修が必要になる可能性もあり、エレベーターの稼働時期は未定です。

- ・配布資料「'18（第44号）もうよんだかな？」及び「てくてく2018」について
事務局説明（長参事）

毎年、その前の年に出版された子供の本の中から、司書が読んでほしい本を厳選し、内容紹介つきでパンフレットを作成して図書館で配布しています。中学・高校生世代むけの「てくてく」にはイラストや内容紹介をYA世代からも募集して掲載しています。それに合わせて、7月10日から8月31日の間、各館「夏休み文庫」として特設コーナーを設け、掲載図書の貸出をしています。

- ・配布資料「大阪公共図書館協会会報 No.163 別紙（1） 大阪府内公共図書館奉仕概況」及び「同 別紙（2）大阪府公共図書館予算一覧表」について
事務局説明（長参事）

大阪公共図書館協会（OLA）が毎年、大阪府下の各公共図書館の統計を一覧表にして出しています。奉仕概況には蔵書数、登録者数、貸出数などの統計値が、予算一覧表には、職員数と前年度決算額、当年度予算額が一覧表になっています。毎年、9月前後に前年度末現在の数値で出されます。配付しましたのは最新版で平成28年度のもので、この度、御要望がありましたので、お配りしました。1年前の数値ですが、点検評価などで他市との比較の参考にさせていただけるかと思えます。

広瀬委員長：皆さんの方から他に何かありますでしょうか。

なければ、本日予定しております案件は以上ですので、本日はこれで会議を終わらせていただきます。長時間ありがとうございました。

本要録並びに配布資料は、吹田市立の各図書館及び情報公開課で閲覧可能です。

要録作成日：平成30年（2018年）9月27日